

福井県感染症発生動向調査速報

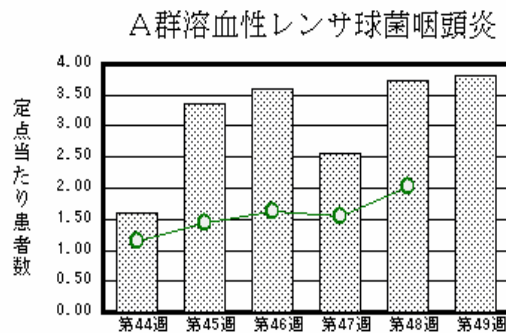
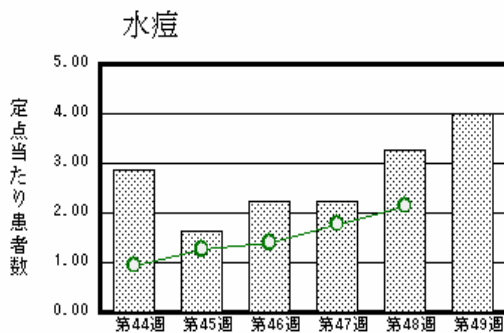
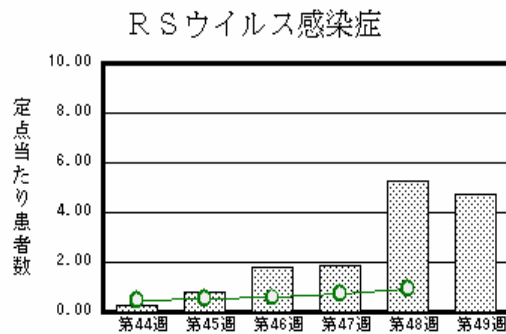
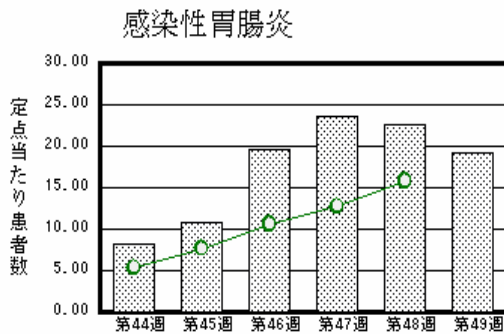
<<平成22年>>

<週報> 第49週 (平成22年12月6日～12月12日)
 <月報> 11月 (平成22年11月1日～11月30日)

発行日：平成22年12月15日
 発行：福井県健康福祉部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎424名(19.27名) R Sウイルス感染症104名(4.73名) 水痘88名(4.00名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎84名(3.82名) 伝染性紅斑21名(0.95名)
 ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(424名) R Sウイルス感染症(104名) 水痘(88名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(84名) 伝染性紅斑(21名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は424名です。定点当たり報告数は減少しました(22.68名 19.27名)。地域別にみると、二州地区31.00名、福井地区23.71名、丹南地区22.80名、坂井地区13.33名、若狭地区5.50名の順となっています。
- 【R Sウイルス感染症】報告数は104名です。定点当たり報告数は減少しました(5.27名 4.73名)。地域別にみると、奥越地区16.50名、福井地区6.86名、坂井地区5.00名、若狭地区1.00名、丹南地区0.80名、二州地区0.67名の順となっています。
- 【水痘】報告数は88名です。定点当たり報告数は増加しました(3.27名 4.00名)。地域別にみると、奥越地区13.50名、二州地区6.00名、丹南地区3.20名、福井地区2.86名、坂井地区2.00名、若狭地区0.50名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は84名です。定点当たり報告数は増加しました(3.73名 3.82名)。地域別にみると、丹南地区7.60名、奥越地区5.00名、坂井地区3.00名、二州地区3.00名、福井地区2.43名、若狭地区0.50名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2010年第47週号(11月22日～11月28日)要点

発生動向総覧	<第47週> 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第44週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<感染症胃腸炎> 第47週の定点当たり報告数は12.72となり、第42週以降増加が続いている
病原体情報	インフルエンザウイルス2010/11 シーズン
速報	日本のHIV感染者・AIDS患者の状況
海外感染症情報	インフルエンザ
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>